

紅葉の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、9月28日に瑞穂市市議会定例会において、一般質問をさせていただきます。

今回の質問内容は、「放課後児童クラブの量的整備と質的環境整備の現状と課題」と「JR穂積駅圏域拠点化構想策定事業の進捗状況及び周辺道路の整備」についての2点です。その一部を報告申し上げます。

市議会 一般質問

放課後児童クラブの量的整備と質的環境整備

持続的な日本の経済成長につながる「成長戦略」の中に、女性が輝く日本をつくるための政策として「待機児童の解消」「職場復帰・再就職の支援」「女性役員・管理職の増加」などを掲げています。一方、厚生労働省の平成27年度国民生活基礎調査にあり、18歳未満の子どもの割合が約68%に

上り、統計を取り始めた平成16年度以降最も多くなっているという社会状況から、保育所の待機児童の解消や学童保育或いは放課後児童クラブとも呼ばれる「放課後児童健全育成事業」などの充実が叫ばれています。

問 当市では放課後児童クラブを小学校区毎に設け、平成28年度より、従来340名の定員を一気に定員550名に増やされていますが、今後も利用者の増加に合わせ、定員枠を増やすべく施設及びスタッフの確保は?

答 **教育次長** 基本的には、市民ニーズがあれば対応していく考えである。夏休みには小学校の生活支援員を起用し、平成29年度よりALT(外国語指導助手)の活躍の場としても検討している。

問 子どもたちが希望する隣接施設を利用できる機会と時間を確保できない状況をどのように改善するのか?

答 **教育次長** コミュニティセンターなどは地域の方も使用する施設であるため制限があるが、可能な限り有効に利用して保育環境の向上に努力していきたい。

穂積駅圏域拠点化構想

策定事業の進捗状況

今回のJR穂積駅圏域拠点化構想のような総合的なマスタープランの策定や都市交通における個別課題への対応などに役立つもの、「パーソナルリッブ調査」というものがあります。この調査は、「どのような人が」「いつ」「何の目的で」「どこから」「どこへ」というような交通手段で「動いたか」について調査し、1日のすべての動きを捉えるものです。

この地域では、平成23年に行われました「中京圏パーソナルリッブ調査」があり、協議会資料に、穂積駅には、岐阜駅・大垣駅・西岐阜駅との比較において、特徴的な数値が記載されています。

それは、駅へのアクセス手段についてです。まず、駅に徒歩、自転車やバイク以外の手段として、バスを利用された方の割合が、岐阜駅は全体の約21%、大垣駅は約3%、西岐阜駅・穂積駅ともに0%となっています。

次に自動車を利用された方の割合が、岐阜駅は全体の約31%、大垣駅は約41%、西岐阜駅は約35%、穂積駅は約49%となっています。

また、自動車利用について、詳

しく分析してみますと、キスアンドライドつまり、自宅から駅まで自動車で配偶者や家族に送迎してもらい通勤・通学される方が、岐阜駅は全体の約14%、大垣駅は約8%、西岐阜駅は約4%、穂積駅は28%となっています。

つまり、穂積駅に到着される方のバス利用が極端に少ない一方で、約5割の方が自動車を利用され、また、自動車による送迎の割合が他の駅に比べ突出している穂積駅の状況を市民の方も、うすうす感じられていることが数値としても裏付けられており、改善解決すべき課題の1つがはっきりしたように感じられます。

問 拠点化構想を立案する根本となる駅の場所について、駅移転の含みを持ちながら構想策定するのは如何ですか?

答 **政策企画監** 駅移転について調査したところ、JR東海は新たな乗降客が見込めない場合は、全額地元負担であるとのこと。また、広大な土地を有する企業などは穂積工場廃止の議論はないとのこと。よって現在の穂積駅を生かす方向で議論を進めていきたい。

問 開設された駅前拠点事務所を活用し、利便性向上や周辺空き店

皆様の想いをかたちに！



▲ 駅南にオープンした駅前拠点事務所

舗の活用策等の意向や意識調査をどのように行い、どのようなことを実施計画予定なのか？

答 政策企画監 聞き取り及びアンケートにより実施する予定である。ふるさと創生大使の平山さんに事業に携わってもらえるよう検討したい。また、駅前活性化事例や集約型都市構造に関するシンポジウムや空き店舗利活用アイデアコンテストなどを計画中である。

問 穂積駅に大規模なバスターミナルなどの構想を含め総合的に進めたい。

答 政策企画監 駅周辺に住んでいる方も、遠くから駅を利用される方も使いやすい駅を目指していきたい。

毎月第4月曜日朝7時からJR穂積駅で自民党の街頭演説に取り組んでいます。



活動報告

毎月第4月曜日朝7時からJR穂積駅で自民党の街頭演説に取り組んでいます。



9月7日/10月7日 6月議会で一般質問しました「駅前周辺地域の路上喫煙禁止区域」設置にむけての現状調査と清掃活動



10月18日 ICT教育機器（電子黒板、タブレット端末）を活用した授業現場視察 ※穂積中の学校公表会にて



10月19日-20日 監視権の活用による議会改革や監視権を如何に行使すべきか等のテーマの全国市議会議長会研究フォーラムに参加 ※静岡市グランシップにて



10月22日 朝日大学こぞって投票にいこまいプロジェクト主催の「岐阜の魅力、再発見！」のシンポジウムに参加 ※当日は大学祭「朝日祭」も開催中

編集後記

私は、この度第6期自民党「ぎふ政治塾」に32名の方と入塾しました。この塾は毎月開催され、毎回、国会議員を中心に首長、地方議員、専門講師などによる講義に加え、スピーチ練習、ディベート、政策立案などの豊富なプログラムが用意されています。初回では、伊吹文明元衆議院議長による「保守とは何か 日本文化と伝統を考える」をテーマに講義をいただきました。そこで、学んだことは、「政治家＝商人」との関係式です。売る商品は、「自分自身」。売り方や売り先を取捨選択し、その販売結果が選挙の結果に表れるとのことです。

次に、本講演のテーマである「保守」とは何か、ただ単に古いものをかたくなに守るのでなく、伝統を守りながら常に新しいものを付け加える自由を認めめることでした。

最後に、政治の世界は多数決の



世界だと考えられているが、「多数決で決まったことが、常に正しいとは限らない。」「自分は常に間違っているものと考え、謙虚さを持ち、少数の者の意見に耳を傾ける度量が必要である。」「そして、人は、「適法行為だ!!」「法を犯していない!!」と声高にいうが、人間社会の掟は本当に犯していないのかと思われる行動をする人がいかに多いか、政治家は法律を守り、その上で社会の掟を守ることが大切である。

以上これらのことを肝に銘じ日々行動していきたいと思いました。

